



今津の子クジラ (写真提供: しばたみなみ)

## 海洋プラスチックごみから海を守ろう!

SUSTAINABLE  
DEVELOPMENT  
GOALS



いまや世界中の海にあふれ、各地の海岸を埋め尽くすプラスチックごみ。環境省によると毎年陸から海へ流れ込むプラスチックごみの量は年間約800万トンに及びます。とりわけ厄介なのが、太陽の紫外線や波の影響を受けて小さく砕かれた「マイクロプラスチック」と呼ばれる5<sup>ミ</sup>以下のもの。半永久的に海中を漂い続け、海の生き物を傷つけ、生態系を脅かしています。

しかし一方で、プラスチック製品は私たちの生活のあらゆる場面になくてはならないものです。テレビや冷蔵庫、パソコンなどの電化製品、キッチン用品やおもちゃ、文具、自動車部品や住宅建材に至るまで、現代人の暮らしからプラスチックを排除することは不可能です。

海洋プラスチック問題というと、あたかもプラスチックが悪者のように捉えられがちですが、海を汚しているのは、ポイ捨てや不法投棄など正しくリサイクルされなかったプラスチック。それはわれわれ人間の行為そのものです。海に流れ込むプラスチックごみを減らし、プラスチックと共存していくために自分に何ができるのか、考えてみませんか。

# 廃材アーティスト・しばたみなみさんの アトリエへおじゃましました!!

西区今津にアトリエを構え、海岸で拾った漂着物を素材に作品を作り続けるアーティストしばたみなみさん。きっかけは2013年、ビーチクリーンのポスター制作の依頼を受け、初めて海岸清掃に参加したこと。きれいだと思っていた福岡の海岸に「海ごみ」があふれる現状に衝撃を受け、環境問題をテーマに制作活動を始めました。

2018年からは日本古来の“裂き織”をヒントに、海で拾った漂着物や家庭内の廃材など異素材を織り重ねて一つの新しいイノチに甦らせるアートプロジェクト『ORINASU-スクラップでビルド』に取り組んでいます。

参加した海岸清掃で出会ったのは、ごみというよりさまざまな形のカラフルで強固な素材達。「これは作品作りに使える!」と収集を始めました。誰もが「ごみ」だと思っているものにもイノチがあり、それぞれにストーリーがあるというのがしばたさんの思い。「いまプラスチックが悪者扱いされているけど、プラスチックそのものは丈夫で繰り返し使えて、素晴らしい素材。作品を通じてプラスチックがなぜ問題なのか、どうすれば環境を汚染することなくつきあっていけるのか考えるきっかけになればいいと思います。」

「みなさんもぜひ機会を見つけて海岸清掃に参加してほしい」としばたさん。いつも海をきれいにしてくれている人たちへの感謝とリスペクトの気持ちを込めて、今日も工房で汗を流しています。



「いまの目標は個展を開くこと。今後は海だけでなく山にも活動の場を広げたい」と語るしばたさん。



ORINASUの原点、裂き織のタペストリー。材料は不用になった洋服を裂いたもの。椅子の座面に使用し、リメイク家具を作っていたことも。

ビーチクリーンで集めた漂着物はきれいに洗浄して作品に。



ゴム草履や洗濯ばさみが織り込まれたクジラのシッポ。漁業用のロープをほどいて、ほぐして使っている。



細かい漂着物はビニールなどの中に入れこみ、ボンドを使わず手縫いで作っているそう。



漁具で作った『カラス』



流木を彫刻刀で削ってペイントした『不思議イキモノ』

SDGsな  
2DAYS♪

身近なことからLet's SDGs! in マリノアシティ福岡

7/30(土)

🌱 生ごみだい肥で育てた  
ひまわりポットプレゼント(中村三陽高校)

7/31(日)

🔥 「こんなにカラフル!♡  
海洋プラスチックでキーホルダー作り」(くらげれんごう)

🌀 漂着物でアートを作ろう♪(しばたみなみ)

🗑️ マイクロプラスチックで万華鏡作り!  
(西部3Rステーション)

なお、両日とも「衣料品の無料回収」、「フードドライブ」を実施します。詳細は西部3Rステーション、マリノアシティ福岡のホームページでご確認ください。

# プラスチックってなに？



「プラスチック」は英語で「自由に形を作れる」という意味の言葉。その名通りさまざまに形を変えて、私たちの便利で豊かな暮らしを支えています。天然の松ヤニや漆の木から出る「樹脂」を参考に石油を主原料とし、人工的にたくさんの分子を合成して作られることから「合成樹脂」とも呼ばれています。

## プラスチックの種類

ひとくちに“プラスチック”と言っても、その種類はさまざま。それぞれに特徴や用途があります。消費者として知っておきたい身近なプラスチックの種類をご紹介します！

<b>PET</b>	<b>ポリエチレンテレフタレート</b> <b>透明で圧力に強く、薬品に強い</b> ペットボトル・フリース素材の衣類・卵パックなど
<b>PC</b>	<b>ポリカーボネート</b> <b>透明で割れにくく熱に強い</b> CD・携帯電話・パソコンなど
<b>PP</b>	<b>ポリプロピレン</b> <b>熱に強く艶がある</b> キッチン用品・おもちゃ・文具など
<b>PE</b>	<b>ポリエチレン</b> <b>軽くて薬品に強い</b> ポリ袋・ラップ・バケツ・食器など

<b>PMMA</b>	<b>アクリル樹脂</b> <b>透明で強い</b> 水槽・定規・コンタクトレンズなど
<b>PA</b>	<b>ポリアミド</b> <b>丈夫で酸素を通さない</b> レトルト食品の袋・ファスナー・自動車部品など
<b>PS</b>	<b>ポリスチレン</b> <b>透明で堅い</b> 食品トレイ・発泡スチロール・CDケースなど
<b>ABS</b>	<b>ABS樹脂</b> <b>不透明で割れにくく、熱に強い</b> 家具・パソコンなど
<b>SAN</b>	<b>AS樹脂</b> <b>透明で傷つきにくい</b> 調味料容器・使い捨てライターなど
<b>PVC</b>	<b>塩ビ</b> <b>薬品に強く燃えにくい</b> フィルム・ホース・合皮・水道管など

## 海洋プラスチックごみを減らすための行動 = 3R+Renewableを実践しよう！

2022年4月1日から、プラスチックにかかわる資源循環の促進等に関する法律がスタートしました。福岡市の家庭から出る燃えるごみのおよそ2割を占めるプラスチック。コロナ禍で増加傾向にあり、廃プラスチックをどう処理するかは環境を考えるうえで重要な課題です。

### 「プラスチックは、えらんで、減らして、リサイクル」

**えらんで** エコなプラスチック製品を選ぼう

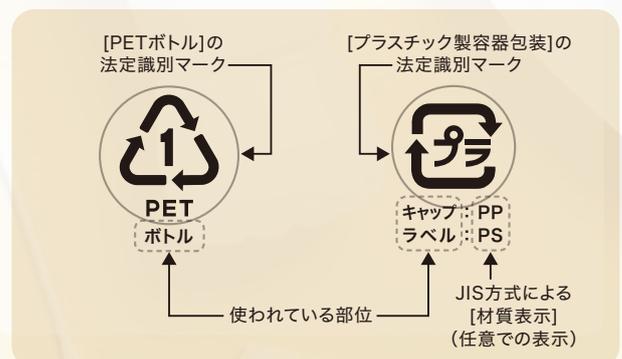
**減らして** 使い捨てプラスチックのごみを減らそう

**リサイクル** プラスチック製品は分別してリサイクルに協力しよう

日々の生活の中で、3R(リデュース・リユース・リサイクル)に加え、再生可能な資源の利用という意味の“R”リニューアブルに進んで取り組みましょう。

## 分別するときはプラマークをチェック！

ごみとして分別するときは、商品についている識別マーク、通称「プラマーク」とマークの下に書かれている文字にも注目してください。使われているプラスチックの種類や、その商品のどの部分にプラスチックが使われているのかといった情報を得ることができます。





## ご来館の皆さまへお願い

### 入館されるすべての方へ

- ・ご利用はできるだけ少人数でお願いします。
- ・発熱、咳等の症状がある場合は来館をご遠慮ください。
- ・館内は**マスク着用**でお願いします。
- ・入口に消毒液を設置していますので、**手指の消毒**をお願いします。
- ・人との距離(2m程度)を保つようお願いします。

### 講座を受講される方へ

- ・受講前に、体調確認と**体温測定**にご協力ください。
- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止するため、状況により今後開催予定の3R実践講座、体験講座、生ごみ堆肥相談会の実施を見合わせる場合がございます。何卒ご理解いただきますようお願いいたします。

## 「フードドライブ」実施中!!

あなたのご家庭に食べきれずに余っている未使用の食品はありませんか？西部3Rステーションでは「フードドライブ」を実施中です。ご提供いただいた食品は「特定非営利活動法人フードバンク福岡」を通じて、子ども食堂や福祉施設など食べ物を必要としている方々へ無償で配布されます。ご提供いただく食品は1点から大歓迎。これまで寄付の方法がわからず捨てていた食品を持ち寄り、支援の輪を広げましょう。

ご家庭で  
余っている食品を  
ご提供ください!



- 日時** 毎日10:00~16:00※休館日を除く
- 場所** 西部3Rステーション2階受付
- 対象食品** 未使用・未開封のもの※賞味期限まで1か月以上ある、常温保存可能なものに限りです。

西部3Rステーションでは、各種体験講座を行なっています。福岡市内にお住まいの方、通勤や通学をされている方なら、どなたでもご参加いただけます。みなさんも身近な3Rを体験してみませんか？

## 体験講座

すべて無料です!!

### はぎれ(布・革)で作るストラップ

- 毎日** 10:30~15:30
- 所要時間30分程度
- 申込** 随時



### 牛乳パックで紙すき体験

- 毎日** 10:30~15:30
- 所要時間30分程度
- 申込** 随時



### ロール芯でペン立て

- 毎日** 10:30~15:30
- 所要時間30分程度
- 申込** 随時



### 食品トレイでマグネットインテリア

- 毎日** 10:30~15:30
- 所要時間30分程度
- 申込** 随時



### ハーブ入りリサイクルせっけん作り

- 水曜日** 10:30~11:30
- 定員** 5名/日(先着順)
- 申込** 希望日の3日前まで



### 体験講座の申込方法

電話、または西部3Rステーションの2階受付で直接お申込みいただくか、①**体験内容**②**住所**③**氏名**④**年齢**⑤**電話番号**を明記のうえ、メール(seibuplaza2@f-kankyo.or.jp)、FAX(092-882-4580)にてお申込みください。

## 生ごみ堆肥相談会

生ごみの堆肥化でお困りの方は何でも相談ください。

- ふくおか環境倶楽部主催**
- 日時** / 毎月第2・第4土曜日  
13:00~16:00

- 場所** / 2F啓発コーナー
- 参加費** / 無料 **事前申込** / 不要
- ※**基材・テキスト購入可**



## 福岡市西部3Rステーション

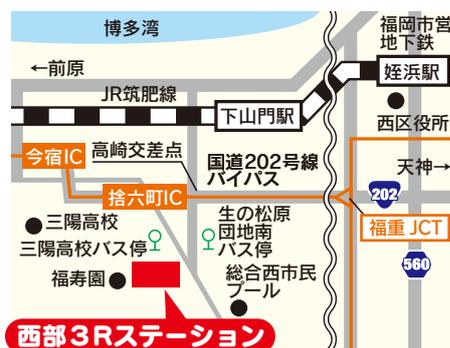
**開館時間** 10:00-17:00  
(衣類の持ち込みは16:00まで)

**休館日** 月曜日  
(休日の場合は開館し、次の平日休館)

**TEL** 092-882-3190 **FAX** 092-882-4580

〒819-0162 福岡市西区今宿青木1043番地の2

**おバスで  
お越しの方**  
姪浜・天神・博多方面より  
西鉄バス「三陽高校前」バス停より徒歩約2分  
西鉄バス「生の松原団地南」バス停より徒歩約5分  
[西鉄バス情報] <http://www.nishitetsu.jp/bus/>



<http://www.fukuoka-seibuplaza.com>

福岡市西部3Rステーション  検索



ツイッターは  
こちらから

西部3Rステーション季刊情報誌 / 2022年7月1日発行  
編集・発行 / 公益財団法人 福岡環境財団



この印刷物は自然環境保護のために再生紙を使用し、植物油インキで印刷しています。